

## I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリ1～3、5～6）

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>ホームページにて概要・活動内容・コンセプト・ビジョン等が発信されている</p> <p>法人のホームページが開設されており、概要・活動内容・コンセプト・ビジョン等が発信されている。ソーシャルファームについて細かな説明がなされており、利用者のニーズに沿うため先駆的取り組みを実施していることが理解できる内容となっている。ホームページの中で更に細かな情報を発信していく計画をしており、多くの方々に活動を理解してもらえるツールとして機能させていく意向もっている。</p> <p>関係構築・情報共有をもって協働した取り組みとなるよう努めている</p> <p>行政、相談支援事業所、医療機関とは連携して利用者の支援を実施しており、関係構築・情報共有をもって協働した取り組みとなるよう努めている。また障害者福祉サービス事業所情報検索や行政ホームページに概要が掲載されており、誰もが知ることができるよう情報の提供がなされている。</p> <p>体験入居、支援体制、充足した支援力など安心・納得してもらえるよう説明に努めている</p> <p>利用者・家族が理解したうえで入居が開始されるよう体験を活用しながら進められている。見学や問い合わせ時には生活上にルールがあるか等の質問が寄せられており、本ホームの自由な生活について説明・回答している。24時間職員が在中する支援体制、多様な利用者に対応する充足した支援力など利用者・家族に安心・納得してもらえるよう説明に努めている。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
2	サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している		○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		<b>評点(〇〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、利用者の不安やストレスが軽減されるように支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
<b>サブカテゴリ-2の講評</b>			
<p><b>入居時には重要事項説明書を用いて留意事項等の説明にあたっている</b>            入居時には重要事項説明書を用いて説明にあたっている。職員体制、サービス内容、災害時の対策・身体拘束の禁止・苦情相談の申し立てが附属されており、面会・外出・迷惑行為等入居にあたっての留意事項も記されている。納得、理解したうえで契約に臨めるよう体験時等から配慮に努めている。</p> <p><b>ルールを守ってもらうのではなく、支援と環境の整備をモットーとしている</b>            入居前および入居時に実施したアセスメントにより生活歴・既往歴等を確認し、基本情報の収集と整備にあたっている。利用者に対して細かなルールを設けるのではなく必要な支援をまとめ、「職員が利用者を理解した支援を実践できるようにする」、「環境を整える」ことをモットーとしている。入居時には持ち物をリスト化し、スムーズな接続となるよう配慮している。</p> <p><b>利用者・家族が選択肢をもてることを目標に運営が進められている</b>            相談支援事業所等関係機関と連携した取り組みに努めており、退居の際にもこれまでに培ったノウハウや人脈を活用し、多くの情報を提供できる環境形成に取り組んでいる。法人グループにより利用者の特性・地域性を考慮したグループホームが複数設置されていることから利用者・家族が選択肢をもてることを目標に運営が進められている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	10/10
3 個別状況に応じた計画策定・記録			
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している		<b>評点(〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. 利用者の心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
<b>評価項目2</b> 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している		<b>評点(〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当	
●あり ○なし	3. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当	
<b>評価項目3</b> 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している		<b>評点(〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. 利用者一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
<b>評価項目4</b> 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点(〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
<b>サブカテゴリ-3の講評</b>			
<b>基本情報を整備し、支援ソフトにより管理・整理している</b> 利用者・家族から心身状況・生活状況を聴取し、基本情報としている。体験・短期入所時の観察とあわせて利用者の意向を反映した情報作成に当たり、支援ソフトを通じて職員がいつでも確認できるよう記録を管理・整理している。利用者のニーズや支援方法は、個別支援計画書・支援手順書に記し、全体の標準化ではなく、個別の支援の具体化をモットーとしている。			
<b>利用者のための計画であることからシンプルに目標設定をするよう心掛けられている</b> 個別支援計画の策定がなされており、利用者の気持ちや表出しない意見を支援に反映できるよう努めている。利用者のための計画であることからシンプルに目標設定をするよう心掛けられており、利用者個別の支援、特性を考慮したケアが実践されるよう仕組みが構築されている。個別支援計画の策定にあたっては利用者へ選択肢をもってもらえるよう・提案ができる支援となるよう取り組んでいる。			
<b>支援ソフト・SNS、記録用紙等ツールの使用によりタイムラグなく情報共有している</b> 毎朝の申し送り時に利用者の情報を共有しており、日々の変化に対応できるよう取り組んでいる。またソーシャルネットワーキングシステムの活用、支援ソフトの利用、記録用紙や情報共有ツールの使用によりタイムラグなく情報を共有している。記録に対しては、できなかったことや不足だけでなく、新しくできたこと等ポジティブな事項も記載するよう指導に努めている。			

サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 <span style="float: right;">サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5</span>
評価項目1 利用者のプライバシー保護を徹底している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 利用者に関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、利用者の同意を得ようとしている
○非該当	
●あり ○なし	2. 個人の所有物や個人宛文書の取り扱い等、日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮した支援を行っている
○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)
○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
○非該当	
サブカテゴリー5の講評	
<p><b>利用者が不快に思わないよう細かな配慮に努めている</b>            個人情報の外部使用については利用者および家族等への同意にあっている。またアセスメントと日々の観察により利用者の意向を把握しており、利用者が不快に思わないよう細かな配慮に努めている。特に女性の利用者に対しては女性の職員で対応し、プライベートな事象について配慮するよう努めている。</p> <p><b>職員と利用者が対等な関係において支援がなされることをモットーとしている</b>            職員と利用者が対等な関係において支援がなされることをモットーとしており、ホーム全体として差別や区別なく生活が送れることを基本方針としている。職員の配置は、国籍・信条等に関係なく行われており、支援側の多様性が利用者の自由な生活の実現に寄与している。また同性介助を基本とし、職員採用にあたってはバランスを考慮するよう努めている。</p> <p><b>利用者が思い思いに生活できるよう環境形成と支援に取り組んでいる</b>            利用者の自由な生活を保障しており、趣味・起業など利用者が思い思いに生活できるよう環境形成と支援に取り組んでいる。また危険な物以外は自由に居室に持ち込むことができ、ホーム全体の規則で縛りを設けず、利用者の状態や意思を最重要視した支援が実践されている。個別支援計画の理解、利用者が選択肢をもてる提案等をこころがけている。</p>	

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/5
6	事業所業務の標準化		
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点(〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		<b>評点(〇●)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
○あり ●なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映している	○非該当	
<b>サブカテゴリ-6の講評</b>			
<p>法人・事業所の方針のもと点検、仕組みづくりがなされている</p> <p>利用者個別の支援をモットーとしており、ベースに関する標準化・最低限のマニュアル化により運営・支援を進めている。利用者の特性、具体的支援方法を文書化し、個別支援計画・支援手順書が支援ソフト中に整理されている。半期に一度点検を行う仕組みづくりがなされており、もれなく行える組織体制となっている。</p> <p>SNSの活用、勤務形態別の話し合いにより情報と改善事項の共有に努めている</p> <p>シフト勤務により全職員が集まる機会を持たないことからソーシャルネットワーキングシステムを活用し、情報と改善事項の共有にあたっては、また職員の勤務形態(日勤、夜勤、平日、週末等)のカテゴリを設けており、カテゴリ別に話し合う機会も設けている。職員間の風通しが良くなるよう努めており、わからないことは相談できる環境となるよう取り組んでいる。</p>			

II サービスの実施項目(サブカテゴリー4)

サブカテゴリー4		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	23/23
サービスの実施項目			
1 評価項目1 個別の支援計画等に基づいて、自立した生活を送れるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 個別の支援計画に基づいて支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりに合わせて、コミュニケーションのとり方を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 自立した生活を送るために、利用者一人ひとりが必要とする情報を、提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 周囲の人との関係づくりについての支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 関係機関と連携をとって、利用者一人ひとりに応じた支援を行っている	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>角度を離れたアプローチにより一律ではない支援に取り組んでいる</p> <p>個別支援計画書と共に支援手順書が策定されており、細やかなケア・利用者の特性に沿った支援ができるよう取り組んでいる。また職員それぞれの長所・短所を把握し、それらを活かす運営に努めている。多様な職員による角度を離れたアプローチこそ一律ではない支援を実現できる根源であることを認識しており、利用者の特性に合わせた支援実践に取り組んでいる。</p> <p>障害特性を把握し、利用者に合わせてコミュニケーションに努めている</p> <p>利用者一人ひとりの障害特性を把握し、利用者に合わせてコミュニケーションに努めている。意思を表明しづらい場合は表情・仕草・身振り等から推察し、利用者本位に考察しながら支援にあたっている。利用者同士、職員と利用者が対等の立場に立って共同生活をおくれるよう運営に努めている。</p> <p>法人内外を問わず相互に利用者の情報をやりとりしできるよう努めている</p> <p>相談支援事業所、医療機関等外部機関や家族との連携を図り、協働して利用者を支えられるよう関係構築に取り組んでいる。また同敷地内に法人内相談支援事業所、日中活動支援事業所を有しており、一体的な支援、総合的なサービスを実現している。法人内外を問わず相互に利用者の情報をやりとりしできるよう努め、利用者の最大の利益が考慮されるよう方針が組まれている。</p>			
2 評価項目2 利用者が主体性を持って日常生活を楽しみ快適に過ごせるような取り組みを行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. グループホームでの生活は、主体的な活動が尊重されている	○非該当	
●あり ○なし	2. グループホーム内のきまりごとについては、利用者等の意向を反映させて作成・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 休日の過ごし方や余暇の楽しみ方については、利用者の意向を反映し、情報提供や必要な支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	4. 室内は、採光、換気、清潔性等に配慮して、過ごしやすい環境となるようにしている	○非該当	
●あり ○なし	5.【食事の提供を行っているグループホームのみ】 利用者の希望を反映し、食事時間が楽しいひとときになるよう工夫している	○非該当	
評価項目2の講評			
<p>利用者一人ひとりの状況に対して明確にし、主体性ある生活に対して支援している</p> <p>利用者の自由を認めた生活が実行されており、主体性ある生活ができるよう支援にあたっている。またホーム全体におけるルールはあるものの、危険が伴うこと、他の利用者に迷惑がかかることなどを利用者一人ひとりに対して明確にし、職員が留意しながらサポートする方針をとっている。利用者を比べない、やぶるためのルールをつくらないことをモットーとしている。</p> <p>思い思いにかつゆったりと過ごせるよう余暇支援に努めている</p> <p>休日や余暇については、思い思いに過ごすほか、ホームでゆったりと過ごせるようサポートと環境形成にあたっている。利用者の好きなことや興味のあることをタイムリーに把握し、趣味や仕事に興じられるよう取り組んでいる。他福祉サービスとの連携により余暇の充実を図るため、連絡調整等にも努めている。</p> <p>落ち着いた雰囲気をつくりだすよう努めている</p> <p>大人が生活する空間として派手な装飾を好まず、障害特性を考慮した落ち着いた雰囲気をつくりだすよう努めている。また食事については利用者一人ひとりのこだわりや健康状態の考慮に努めている。基礎疾患を抱える利用者への食事提供や希望の配慮については今後の課題としており、方策を検討していく意向をもっている。</p>			

3 評価項目3 利用者の状況に応じて、生活上の支援を行っている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の状況に応じて、身の回りのことについて必要な支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の状況に応じて、家事(調理、洗濯等)について必要な支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の状況に応じて、金銭の管理や使い方について支援を行っている		○非該当
評価項目3の講評			
<p><b>利用者の特性に応じた支援となるようサポートに努めている</b>          利用者の能力発揮を主眼として支援にあたり、利用者の特性に応じた支援となるようサポートに努めている。居室の清掃、身支度、清潔保持など利用者ごとに考察・分析がなされており、主体性を保つよう取り組んでいる。できることは自分でやる・できることを増やすことをモットーとし、利用者を褒め・認めることを意識するよう努めている。</p> <p><b>利用者の要望や意思を正確に把握し、状態にあわせた支援に取り組んでいる</b>          金銭管理については利用者の状態や要望にあわせて行っている。また利用者の要望や意思を正確に把握する必要性を認識しており、職員が細かなことまで気づくことができる力を身に付けるよう指導に取り組んでいる。他の利用者とは比べてしまう場合に的確な説明ができるよう研修・勉強会を通じて取り組む意向を持っている。</p>			
4 評価項目4 利用者が健康を維持できるよう支援を行っている			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の健康状態に注意するとともに、利用者の相談に応じている		○非該当
●あり ○なし	2. 健康状態についての情報を、必要に応じて家族や医療機関等から得ている		○非該当
●あり ○なし	3. 通院、服薬、バランスの良い食事の摂取等についての助言や支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	4. 利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている		○非該当
●あり ○なし	5. 【利用者の薬を預ることのあるグループホームのみ】 服薬の誤りがないようチェック体制を整えている		○非該当
評価項目4の講評			
<p><b>全て通院同行し、正確な伝達による受診となるよう取り組んでいる</b>          利用者の健康状態を把握し、健やかに生活ができるよう管理し、支援ソフトにより記録と確認がなされている。通院についてはすべてホームにて対応し、ドクターに対して利用者の日常生活・健康状態・変化等を報告し、正確な伝達による受診となるよう取り組んでいる。また受診結果を家族へ報告し、協働した支援に努めている。</p> <p><b>利用者の健康と安全を守るため、服薬管理にあたっている</b>          看護師が常駐しており、医療依存が高い利用者に対して小さな変化に気づき対応できる体制が構築されている。また服薬については、ホーム側で対応し、誤薬がないようトリプルチェック(配薬時・与薬時・セット時)にあたっている。利用者の健康と安全を守るため、ホーム側での服薬管理については入居時に説明し、理解を求めている。</p> <p><b>健康状態を把握し速やかに対応できる体制整備に努めている</b>          利用者の既往に対しては、支援手順書を設置し健康状態を把握し速やかに対応できる体制整備に努めている。また看護師の常駐、増員を図れる環境を有しており、緊急時・初期対応等にあたっている。利用者の主体性や意思を尊重しつつ、体重コントロール、生活習慣病予防等にも注力していく意向をもっている。</p>			

5 評価項目5 利用者の意向を尊重しつつ、個別状況に応じて家族等と協力して利用者の支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 家族等との協力については、利用者本人の意向を尊重した対応をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 必要に応じて、利用者の日常の様子や施設の現況等を、家族等に知らせている	○非該当
●あり ○なし	3. 必要に応じて家族等から利用者・家族についての情報を得て、利用者への支援に活かしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>距離感に配慮し、自立とプライバシーを考慮した支援に努めている</p> <p>家族と利用者との距離感に配慮し、利用者の自立とプライバシーの確立を重視し、勘案しながら進めている。利用者と家族の意向の違いについては双方の気持ちに寄り添いながら、意見を聞きながら支援方針を決定している。外出、受診時等こまめに報告し、連携した支援ができるよう努めている。</p> <p>家族からアセスメントし、利用者とのかかわり方について検討しながら支援を進めている</p> <p>利用者の生活歴や嗜好について家族からアセスメントし、利用者とのかかわり方について検討しながら支援を進めている。自宅での生活、モチベーションの上げ方、外出時の留意、声掛けなど細かに分析し、臨機応変な対応にあたっている。利用者の加齢とともに家族の高齢化に対しても対応の必要性を認識しており、変わりつつある環境に応じて家族との関係性の構築方法を模索している。</p>		
6 評価項目6 利用者が地域社会の一員として生活するための支援を行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者が地域の情報を得られるよう支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者が地域の資源を利用し、多様な社会参加ができるよう支援を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>利用者それぞれが興味をもつ情報を取得できるよう取り組んでいる</p> <p>新聞の定期購読、インターネットの活用など利用者それぞれが興味をもつ情報を取得できるよう取り組んでいる。また日々の生活やヒアリング時に利用者の必要としている情報を把握し、提供できるよう取り組んでいる。余暇や休日は利用者の意思の尊重と全体での活動のバランスを考慮しており、清掃活動、運動会、イベント情報などを紹介し、生活が充実するよう努めている。</p> <p>無理強いしない・型にはめることのないよう支援を心がけている</p> <p>医療機関、相談支援事業所、行政、などと関係を構築しており、利用者が望む生活に対して協働するよう努めている。新型コロナウイルスの影響により活動や外出が自粛・縮小されており、利用者のストレス緩和に対して思案と検討に努めている。地域との活動に対しても利用者が選択できる環境を提案していくことをモットーとしており、無理強いしない・型にはめない支援を心がけている。</p> <p>ソーシャルインクルージョンとして地域との共生に取り組んでいる</p> <p>近隣住民との関係性にも配慮しており、何でも言い合える関係性づくりに努めている。ソーシャルインクルージョン(誰もが積極的に受け入れられる社会)の実現のためには「就労」と「生活」という2つの側面に加え、地域からの理解が必要であることを認識しており、法人・事業所として地域との共生に取り組んでいる。</p>		